広島県版

個別の指導計画

【学校内で作成する指導計画　記入例】

様式２（指導に関する記録）

学年組	年　　組	作成日	令和　年　月　日	校長		
フリガナ		更新日	令和　年　月　日	年度初	前期末	後期末
児童生徒名						
指導者 支援者				導時数		
				間		

・子供の実態を把握する際には，様々な背景（母語，環境，態度，学力等）を含めて，多角的・包括的に見ていきましょう。
・日本語の力は複数の人で多面的に判断することが望ましいです。
・４技能の観点から，特徴的な様子を記入しましょう。
・ステージは，「日本語指導が必要な児童生徒を対象とした指導の在り方に関する検討会議」作成の「学習目標例」を参考にしてもよいでしょう。いくつかの項目を選び，組み合わせてもよいです。

技能	ステージ	日本語の力	DLA（JSL対話型アセスメント）
話す	3	聞きなれた言葉を組み合わせて，自分自身のことや身近な出来事について，主に単文を使って話すことができる。	3【●月●日】
読む	2	助詞の「は」「へ」等を正しく読んだり，絵などの支援を得て，日常でよく使われる語彙で書かれた単文を読んで理解したりすることができる。	2【▲月▲日】
書く	2	日常よく使われる表現を使って，話し言葉をそのまま文字にしよう	
聴く	3	体育，音楽などの実技系の授業で，教師の話を理解し指示で活動す ができる。	

「DLA」を実施した場合は，記録に残します。４領域全てを実施する必要はありません。実態に応じて選択的に行ってください。（DLA については，別途御紹介します。）

技能	ステージ	指導目標
話す	4	授業の中でグループ学習に参加し，教科と関連のあるテーマで自分の意思や相手に伝えるべき内容を，簡単な日本語で発表することができる。
読む	3	絵ややりとりなどの助けを得て，日常でよく使われる語彙や表現を使って書かれた，１年生レベルのテキスト（お話）を読んで，大意を理解することができる。
書く	3	学校行事など経験した事柄について，支援を得ながら，順序に沿って，簡単な構成の文章を書くことができる。
聴く	4	授業テーマに関連した内容について，平易な言葉で説明を聴いて大意を理解したり，グループでの話し合いに参加して，大意を理解したりすることができる。

日本語指導プログラム	４月　５月　６月　７月　８月　９月　10 月　11 月　12 月　１月　２月　３月
サ	
基	→
技	→
統	→
補	

「外国人児童生徒受入の手引き（改訂版）」（文部科学省）を参考に，５つのプログラムを組み合わせて指導計画を立ててもよいです。
※　指導期間を→で記入しましょう。

サ…サバイバル日本語　基…日本語基礎　技…技能別日本語　統…日本語と教科の統合学習　補…教科の補習

小学校　第３学年　ブラジル籍児童の例（滞日期間９ヵ月）

「日本語指導が必要な児童生徒を対象とした指導の在り方に関する検討会議」作成の「学習目標例」を参考に，言語の４技能がバランスよく指導できるように目標設定を行いましょう。

「特別の教育課程」による日本語指導	
指　導　計　画	
話す	在籍学級の教科学習の中で自分の意見を発表できるように，取り出し指導の際に，先行型学習を行い，２～３文のスピーチ原稿をつくるよう指導する。
読む	在籍学級の授業に入る前に先行型の学習を実施し，１年で学習する漢字の混ざったリライト文を使って，内容を理解する時間を設定して指導する。また，年間を通して，子供のレベルに合った本を読んで内容について話し合ったり，大まかな話を読書カードに書いてまとめたりする活動を取り入れる。（書く活動）
書く	教師が示すモデル文を参考にしながら，体験した事柄について，順序に沿って簡単な構成の文章を書くように指導する。
聴く	学習内容の見通しと興味をもたせる活動を取り入れながら，授業のテーマに関連した教科用語や表現を先行して取り上げ，意味理解を促すように指導する。

評　価（指導内容・指導方法・学習状況等）	
前　期	後　期

・学習目標に対する具体的な指導内容や方法，学習状況，評価等について記入しましょう。
・授業中の観察や発表，作文，スピーチなどから多面的に評価を行いましょう。
・個人の意欲や努力，到達度を大切に考えた個人内評価で記入しましょう。

上記以外の指導・課題等	・国語科は週２回入り込みによる指導。 ・地域の日本語教室「〇〇」に参加。（毎週木曜日〇時間） ・地域と連携した母語・母文化の支援。 ・家庭でも母語を使った支援ができるように連携する。（母語でも読み聞かせ，母語で学校の話をする等）

在籍学級での指導や，学校外で学んでいる場合も記録してください。

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
取り出し指導の授業時数												